

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会

第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月29日(火) 一回戦

Jコート 第3試合 本庄市児玉総合公園体育館(エコーピア)

チームA		28 - 25		チームB
県立高崎商業	90	9 - 16	74	夙川学院
群馬		26 - 16		兵庫
		27 - 17		

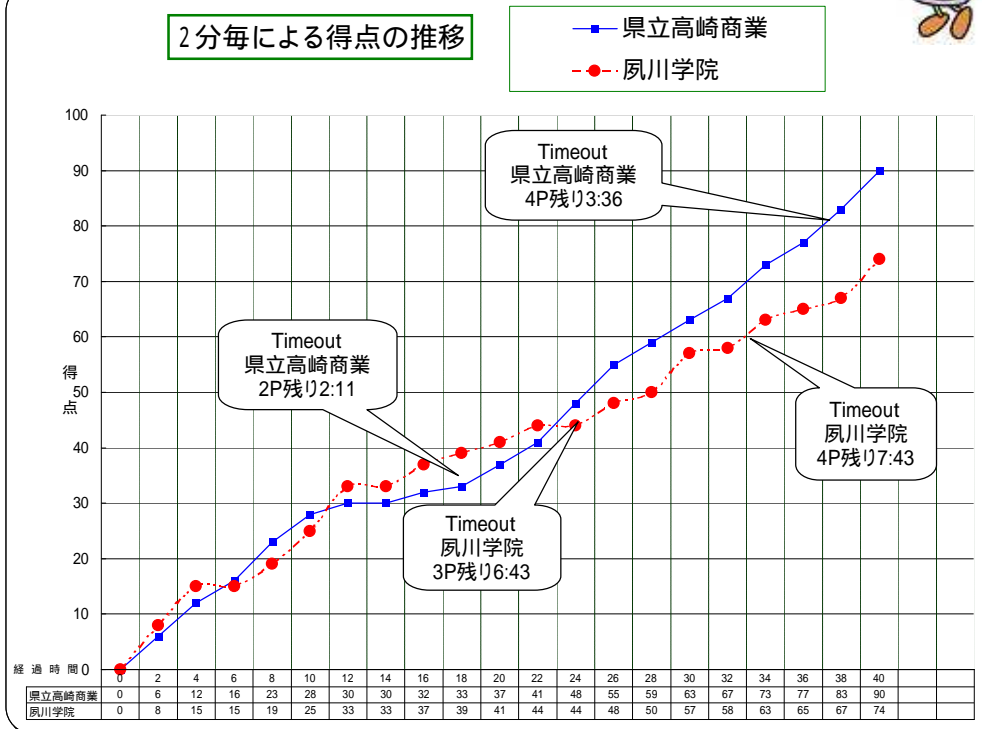
県立高崎商業

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	小笠原 真紀	X	24	0	0	9	18	6	6	0	0	1	4	4	4	0	39
5	根岸 美佳	X	29	3	4	7	11	6	6	2	1	3	4	1	6	0	39
6	徳永 真美	/	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
7	小野 真名美	X	14	0	0	7	10	0	0	3	2	8	3	1	3	0	38
8	木内 智美	X	19	0	0	9	15	1	3	2	1	11	3	1	1	2	38
9	高橋 美帆	X	4	0	0	2	5	0	0	4	3	8	5	2	4	0	38
10	齋藤 美久	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
11	福田 沙織	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
12	星野 晴佳	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
13	佐々木 優実	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14	鈴木 翔子	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
15	菊池 亜里紗	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
コーチ	小代 淳一	/	/	/	/	/	/	/	/	0	3	5	/	/	/	/	/
出場: ×は先発、/は出場			90	3	4	34	59	13	15	12	10	36	22	9	18	2	200
確率			75.0%	57.6%	86.7%	計		46									

夙川学院

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	福山 美矩	X	21	0	0	9	24	3	4	1	5	6	5	2	3	0	37
5	勝呂 美紀	/	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
6	幸坂 絵里	X	4	0	0	2	5	0	0	4	3	1	4	1	0	0	22
7	田路 真梨子	/	3	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
8	田中 里佳	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
9	古橋 恵利華	X	6	0	0	3	9	0	0	2	3	2	1	0	0	1	14
10	佐藤 志穂	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11	白濱 愛可	X	0	0	0	0	0	0	0	4	4	1	0	1	0	1	15
12	溝口 由菜	/	5	1	4	1	9	0	0	1	0	1	3	1	1	0	14
13	濱谷 詩依奈	/	2	0	0	1	8	0	0	1	5	1	1	2	5	0	25
14	新 理沙	/	16	0	0	6	10	4	4	3	8	0	1	2	1	0	29
15	川端 実乃里	X	17	3	9	4	4	0	0	0	1	3	2	2	2	0	38
コーチ	山戸 英二	/	/	/	/	/	/	/	/	0	2	5	/	/	/	/	/
出場: ×は先発、/は出場			74	5	14	26	69	7	8	18	31	20	17	11	12	2	200
確率			35.7%	37.7%	87.5%	計		51									

2分毎による得点の推移



戦評
 アウトサイドのシュートを軸とし、初戦突破を狙う高崎商業と、高さを生かしたプレイで勝利を目指す夙川学院との戦いが始まった。第1P、高崎商業はハーフコートマンツーマン、夙川学院はオールコートマンツーマンで始まる。高崎商業はセンター # 8木内を中心にした攻撃で、夙川学院は # 4福山を基点にスクリーンプレイや速攻で得点をお互いに取り合い、28対25で高崎商業3点リードで終了。第2P、リズム良くスクリーンプレイから中・外で得点を重ねる夙川学院。ディフェンスにミスを見え始めた高崎商業は、オフェンスでもミスが続け逆転、リードされる。ディフェンスに3 - 2ゾーンをからめながら相手のリズムを崩しにかかる。お互い得点は止まり、37対41、夙川学院4点リードで前半終了。第3P、夙川学院が高崎商業の3 - 2ゾーンに苦しみ始めると、高崎商業は # 4小笠原の頑張りで残り7分に同点とし、その後、速攻から # 5根岸がシュートを決め逆転。その後も連続得点すると、夙川学院は2 - 2 - 1のゾーンプレスで反撃に出るが、差は思うように縮まらず、63対57で高崎商業リードとなる。第4P、追いつきたい夙川学院だったが、辛い時間が続く。高崎商業はディフェンスから速攻とつなぎ、勢いは止まらない。早い時間にゾーンディフェンスに切り替え、相手の得意プレイを封じた高崎商業が90対74で初戦突破を果たした。

主審	柴崎 久美子	副審	二宮 誠	戦評	鬼沢 和美 (埼玉県高体連)
----	--------	----	------	----	----------------

3P: スリーポイントシュート, 2P: 2ポイントシュート, FT: フリースロー, OF: オフェンス, DF: ディフェンス, TO: ターンオーバー, ST: スティール, AS: アシスト, BS: ブロックショット